

2016

JUL. 7 vol.40

東京成徳広報



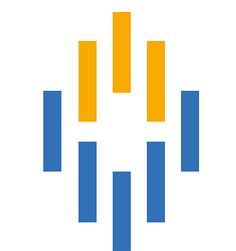
6月に北運動場で開催された高等部の体育祭



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	巻頭言「グローバル社会と芸術」 東京成徳学園理事長 木内 秀樹
P 4	学園の動き 大学認証評価適合認定 学園人事 平成 28 年度事業計画（抜粋） 平成 27 年度事業の概要 平成 27 年度決算
P 8	「東京成徳ビジョン 100」への取り組み 中高一貫部におけるグローバルエデュケーション 学校教育現場における教育の ICT 化 中高一貫部・高等部の授業風景
P 11	ひと『活躍する卒業生』 臨床心理士 櫻井 由史さん（大学院心理学研究科修了）
P 12	進路状況
P 15	TOPICS 大学院 大学 十条台キャンパス 短期大学 大学 八千代キャンパス 中高一貫部 高等部 深谷中学校 深谷高校 幼稚園 第二幼稚園
P 21	クラブ活動 学園後援会総会
P 22	オープンキャンパス・入試説明会のご案内
P 24	お問い合わせ先



TOKYO SEITOKU

学園シンボルマーク
イエローは「活力」と「勇氣」を表し、
三本の柱は学生・生徒・園児、教職員、
同窓生を象徴しています。
ブルーは「理想」と「若さ」を表し、五
本の柱は五つの教育目標を象徴していま
す。
そして、八本の柱が一体となり、東京成
徳学園とその学園に集う人々のヒューマ
ニティを作り上げる姿を表現しています。

表紙 高等部体育祭

初夏の爽やかな日差しの下、全校生徒が3色のグループに分かれ、優勝を目指して全力を尽くしました。女子の綱引きは各色とも1年生から3年生までの綱引きのメンバーが力を合わせ、総当りで3分間戦いました。約50mの綱を、力を合わせて引き合っています。



「グローバル社会と芸術」

東京成徳学園理事長 木内 秀樹

創造性を高め、異文化を理解する

グローバル人材の育成に関しては、英語コミュニケーション能力の向上やICT教育の充実などさまざまな取組みが検討されている。

そして、主体的な考えを論理的に構築するためには、いろいろなテーマによる小論文演習のようなものが必要だと考えている。また、創造性を

育み異文化理解という観点からは、芸術による感性教育も有効であろう。

芸術といえば、春に開催された美術展で興味をひかれたものがいくつもあった。まず、都美術館で開催されていた「伊藤若冲展」である。

若冲の圧倒的な技巧がテレビで紹介されたこと、普段見ることのできない宮内庁所蔵の絵画が出品されていることもあり、入場まで3時間位は行列しなければならぬという大変な人気であった。そして、国立近代美術館での「安田勲彦展」、国立博物館での「黒田清輝展」と私の大好きな画家の特別展が重なっていた。もちろん全部をゆつくり見たいと思っていたが、結局ひとつも見ない

内に会期が終了してしまった。

仕事の関係で時間がとれなかったこともあるが、会期終了が近づくにつれ、異常な混雑ぶりが報道され見に行く気力が萎えてしまったからである。しかし、今となっては、大変な思いをしても見ておくべきだったという後悔をしている。

「神品」の本物に学ぶ

4年前、展覧会に入場するため私も長時間行列した経験がある。それは「北京故宫博物院展」で「清明上河図」を見に行った時のことである。

この絵は、北宋の首都・開封の河の両岸を舞台に清明節（4月上旬）の賑やかな様子が描かれている巻物である。中国美術史上屈指の名画であり、かの地では「神品」と呼ばれ滅多に公開されない作品とのことであった。この時ばかりは、この機会を逃がすと一生見ることができないという悲壮な覚悟で、4時間並んでやつと入場することができた。その時行列している人達を観察すると、半分以上は6歳を超えたと思われる

女性であったように記憶している。つづく年配の方々の芸術への関心の高さとそのパワーに大いに感心した。一方で若い人達があまりに少なかったのに意外で残念な思いをした。もちろん、若い人が行きづらい時間帯であったとか、テーマによっても関心の度合も違うのであるが、それでも「神品」の本物を見られるという絶好のチャンスを逃がさないで欲しかった。

芸術全般に関心を持ち、先ず日本の伝統文化の理解を

グローバル時代は地球レベルで情報の伝達スピードが早く、同じ情報を世界中の人々が瞬時に共有することが可能になる。しかし、このことによつて地球上の人々が文化的にも標準化され、「グローバルスタンダード」に統一化されるかと言えば、そうではないように思える。それぞれの地域で、国や民族の文化・アイデンティティを失わず誇りを持ち続けようとするのではないだろうか。そのためには、自国の文化の理解を意

識して努める必要があるだろう。そうしてこそ、他の文化・価値観をも理解し受容できる能力・感性が育つに違いない。若い人達にもつと芸術全般に関心を持ってもらい、とりわけ日本の伝統文化にも目を向けて

もらいたいと考えている。

もう16年位前になろうか、文化財保護法施行50周年を記念して、東京国立博物館で「日本国宝展」が開催された。全国から特に優品が集められていてとても心に残る特別展であった。私は会期中3回も見に行つたが、家族とは時間が合わず、それぞれ別々に見に行くことになった。

なにかの機会に「何が素晴らしいと思つたか」という話になり、皆が一致したのが、厳島神社所蔵の「平家納経」であった。一緒に見に行つた訳ではないのに家族全員が同じ作品に大きな感動をしたことで、同じような感性であることに気付き妙に嬉しくなったものである。

同じ絵が好き、同じ音楽が好きということは、国境を越えてコミュニケーションのきっかけとなるだろう。

最後に、8月に行なわれるリオ・オリンピック、パラリンピックに本学園関係で4名が日本代表として出場することになりました。女子バスケットボールで中学・高校の卒業生の吉田亜沙美さんと間宮佑圭さん、走幅跳で深谷高校卒業生の高桑早生さん、水泳で高3在学中の池愛里さんである。

皆さんの応援をお願いします。

東京成徳大学が「適合」認定を取得

—2回目の日本高等教育評価機構による認証評価—



東京成徳大学は、平成27年度に公益財団法人日本高等教育評価機構（以下、評価機構）による認証評価を受審した結果、大学評価基準に適合していると認定されました。

○認証評価とは

平成16年度に学校教育法が改正され、すべての大学は七年に一度、教育研究、組織運営及び施設設備等の総合的な状況について、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価を受けることが義務付けられています。

○大学のこれまでの対応

本学では、平成16年度の法改正を受けて、学則の変更、自己点検評価体制の構築など、認証評価を受ける体制を着々と整備して平成20年度に初めて受審し、基準を満たしていると認定されました。その後、評価機構の評価基準が変更になりましたが、変更後の評価基準に則した自己点検評価を実施し、またFD (Faculty Development) の取り組みを強化して、大学における問題点を洗い出すなど、社会的な評価を得るための改善をしてきました。これらを踏まえて平成27年度に二回目の受審となったものです。

○今回の認証評価の受審

平成26年7月に評価機構へ平成27年度受審の申込みを行いました。これをスタートとして、各学部・学科・大学院のメンバーで構成する自己点検報告書編集委員会を中心に、評価機構が示す評価基準に従って、認定評価の基本となる「自己点検評価書」を6月に提出しました。また、10月には評価機構の評価員による実地調査を受け、大学キャンパスの日常の姿を確認していただきました。

○評価結果と今後の取組み

この結果、平成28年3月に評価機構から、「大学評価基準に適合している」と認定され、認定証の送達を受けることができました。本学と同時期には、68大学が評価機構に評価申請を行い、うち63大学に「適合」と認定が行われています。

本学では、今後、自己点検評価書において十分でない点と内部判断した項目について改善取組みを行うとともに、実地調査の過程や評価報告書で受けた「改善意見」「参考意見」にも着目して改善を行い、高等教育機関として社会から評価される大学を目指して、教育・研究の充実に努めてまいります。

(注) 評価報告書の全文は、大学ホームページでご覧いただけます。

学園人事 平成28年2月～7月

平成28年5月に開催された学園理事会・評議員会において、理事・監事・評議員の改選が行われ左記の通り決定しました。現理事・監事・評議員の重任に加え、新たに評議員に木内雄太法人本部副本部長と関博光法人事務局長が選任されました。

平成28年5月31日現在

理事・監事・評議員

役職	氏名	現職
理事長・評議員	木内秀樹	短期大学長、中学・高等学校長、幼稚園長
理事・評議員	木内秀俊	学園長、学事顧問
理事・評議員	海保博之	大学長
理事・評議員	神田正	深谷中学・高等学校長
理事・評議員	渡部賢	大学事務局長、短期大学事務局長
理事・評議員	竹内利行	群馬大学副学長
理事・評議員	前田雅英	日本大学大学院法務研究科教授
理事・評議員	青柳晴久	赤城印刷株式会社代表取締役
監事	黒田定男	前 大学八千代事務局長
監事	黒崎康夫	株式会社黒崎インターナショナル代表取締役
評議員	岡田康司	大学経営学部長
評議員	松崎博	大学事務局次長
評議員	石山賢	法人本部企画調査室長
評議員	星野薫	第二幼稚園長
評議員	関博光	法人本部法人事務局長
評議員	染谷一子	中学・高等学校同窓会長
評議員	遠藤洋子	短期大学同窓会長
評議員	藪崎精克	株式会社藪崎工務店代表取締役
評議員	木内雄太	法人本部副本部長
評議員	新井邦二郎	大学院研究科長
評議員	安見克夫	短期大学幼児教育科長
評議員	永井聖二	大学子ども学部長
評議員	津島泰雄	津島歯科医院院長

平成28年度事業計画(抜粋)

部 門		事 業 内 容
高等教育部門	大 学 通 共	<ul style="list-style-type: none"> ・東京成徳ビジョン100の計画に沿った、学部・学科のあり方の検討 ・日本高等教育評価機構による第三者評価で付された「参考意見」への対応 ・私立大学等改革総合支援事業が示す「教育の質向上」に向けた取組みの推進 ・教員免許更新講習、公開講座、学生ボランティア事業等を通じた地域連携活動の推進 ・交換留学、語学研修等の海外交流を実施し、グローバルな人材の育成 ・受験生のニーズに応じた学生募集活動を展開し、定員確保への尽力
	人 文 部 応 用 心 理 学 部 大 学 院	<ul style="list-style-type: none"> ・収容定員未達の3学科(伝統・国際・福祉)について、学科のあり方の検討 ・文科省より付された「留意事項」に従い、観光文化学科の教育体制の維持 ・授業の質を高めるFD、PDCAに基づく諸業務及びSDの実践 ・就業力向上のためのキャリアプログラム充実による「進路決定率」の上昇 ・施設設備の点検・整備による、老朽化対策及び機能維持 ・十条台キャンパスに移転後の臨床心理学科及び大学院の安定稼働への尽力 ・大学院の昼夜開講制の見直し
	子 ども 部 学 部	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの表現活動」にかかわる履修コース及び小学校教員免許課程の整備、充実 ・「質の高い就職」支援のためのプログラムの整備、充実及び入試方法の検討、改善 ・教育支援人材育成事業(東京学芸大学他と共同)の推進
	経 営 部 学 部	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の整備・充実、今年度改訂カリキュラムの実施及び来年度カリキュラム改訂の準備 ・キャリア教育の充実と就活支援の強化 ・学修意欲向上のための「懸賞論文」「ビジネスアイデアコンテスト」の実施 ・授業アンケートとFDの強化による授業の質の向上
	短 期 学 大 学	<ul style="list-style-type: none"> ・短期大学の特質ある教育の明確化(実践的教育の充実) ・グローバル教育に向けたカリキュラムの見直し ・教員の教育研究開発の促進、入学前教育の導入への検討 ・教育向上に向けて非常勤講師との連携強化、近隣地域・協力園との連携の促進 ・公務員志望の学生の公務員支援対策室の設置の促進
中 高 等 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・東京成徳ビジョン100で示された目標の段階的実現に向けての検討 ・グローバル教育をめざす取組み(1)高等部でのCTP授業の展開、1コマ45分授業の実施、(2)中高一貫部・平成29年度入学生からの留学プログラム実施に伴う学校生活全般に係る検討、(3)「自分深め学習」の推進、(4)英語教育の研究と実践(ネイティブ教員の活用)、(5)理科・社会などの教科におけるアクティブ・ラーニング導入の検討 ・運動施設の確保整備(南グランド借用・アンツーカー補修など)と部活動の振興 ・防災への対応(避難訓練・研修会の実施、防災備品の入替・購入) 	
深 谷 中 学・高 等 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神「成徳」の理念にもとづく、規範意識を醸成し規律ある生活態度の一層の確立 ・進路指導部長と各コース主任が綿密に連携し、改編した各コースの特徴を生かした進路指導の実践 ・生徒による「授業評価」の満足度上昇及びネットへの公開 ・「教師の熱意」や「面倒見の良さ」を数値で示すことによる、教育活動のアピール ・アクティブ・ラーニングの研修の深化と実践 ・同窓会・PTA、地域住民一体となった教育事業の展開 ・入試広報活動の見直しと取組の強化(学校説明会の一層の充実、進学相談の大幅増加、桐蔭祭の活用) ・実施した具体的施策の評価・改善及び、計画したものの実行と評価・改善(PDCAサイクル) 	
幼 稚 園	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象講演会等の実施 ・カリキュラムの大幅見直し改善、教員研修の実施(保育関連研修・マナー研修など) ・防災への取組み実施(備品整備、避難訓練、研修など) ・課外教室での施設活用(花まる学習会、ピアノ教室など) 	
第 二 幼 稚 園	<ul style="list-style-type: none"> ・園児・保護者等の安全を第一に据えた運営をおこなう。 ・安全対策の実施(安全対策の工事、防災用品の整備、避難訓練等)。 ・年長クラス31名、少ない人数での創意工夫したカリキュラムでの活動。 	
法 人 本 部	<ul style="list-style-type: none"> ・東京成徳ビジョン100に基づいた新中期事業計画の策定及び中期事業計画のフォロー ・時代のニーズに合わせた大学の学部学科の再編及び組織力強化 ・十条台キャンパス再整備・用地取得及び遊休資産の処分を含めた資金調達の検討 ・理事会・評議員会、諸会議等の活性化及び各種監査の充実による管理運営体制の強化 ・組織の見直し実施、権限の明確化・見直し、規程の整備 ・収益構造改善・省エネの徹底及び各部門への浸透 ・広報誌・HPの充実、パブリシティー体制の構築など広報の見直し 	

平成27年度事業の概要

学園は、創立90年に当る平成27年度に、1,761人の卒業生を送り出し、累計卒業者が12万人を超えました。また、平成28年4月に1,832人の入学者を迎え、平成28年5月1日現在の学生・生徒・園児数は、5,324人となりました。

学園では、創立90年を記念して、学園が目指す創立100年のビジョンを、「東京成徳ビジョン100」にまとめました。目標は、「成徳」の精神を持つグローバル人材の育成です。また、最近十年の各校・園の出来事を中心にこれまでの軌跡をまとめ、学園広報創立90周年特別号を発行しました。他、各学校ごとに記念式を挙行しました。さらに、東京都北区と「災害時における施設利用の協力に関する協定」を締結し、災害時の帰宅困難者に施設提供の支援を行うことになりました。

①法令で定められた認証評価を、日本高等教育評価機構に受審した結果、大学評価基準に適合していると認定されました。
②臨床心理学科を平成28年度新入生から十条台キャンパスに移転することとし、同学科の教育課程を再編し

ました。また、子ども学部「子どもの表現活動に係る科目」の整備充実、経営学部のエンタテイメントビジネス科目の導入準備など、各学部学科で教育課程等の整備を進めておられます。

③平成28年度から大学院心理学研究科も、学科の移転に合わせて十条台キャンパスに移転するよう、5号館の改修工事を実施いたしました。

④短期大学は、開学50周年式典を挙行した他、「東京成徳短期大学五十年史」を刊行して学生とともに節目を祝いました。

中等教育部門の主要事業は、次の通りです。

①知的関心の喚起や多角的思考を養うCTP (Critical Thinking Program) 授業の展開、ネイティブ教員の増員などにより、グローバル人材の育成を目指す取り組みを行いました。

②進学指導充実のため、外部講師にも依頼して補習などの学習支援の強化を行いました。

幼児教育部門の主要事業は、教職員 の資質向上、指導力向上を図るため、研修会の参加や実施を行いました。

なお、詳しくは、学園ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

学校法人東京成徳学園 平成27年度決算報告

資金収支計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	4,088,510
手数料収入	119,860
寄付金収入	47,396
補助金収入	1,614,051
資産売却収入	25
付随事業・収益事業収入	9,519
受取利息・配当金収入	1,671
雑収入	211,179
借入金等収入	800
前受金収入	928,751
その他の収入	729,604
資金収入調整勘定	△ 1,071,888
前年度繰越支払資金	3,884,791
収入の部合計	10,564,269
支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	3,802,761
教育研究経費支出	1,063,730
管理経費支出	391,440
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	2,200
施設関係支出	620,265
設備関係支出	95,771
資産運用支出	0
その他の支出	328,205
資金支出調整勘定	△ 226,377
翌年度繰越支払資金	4,486,274
支出の部合計	10,564,269

事業活動収支計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) (単位:千円)

科 目		金 額
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	4,088,510
	手数料	119,860
	寄付金	10,778
	経常費等補助金	1,562,110
	付随事業収入	9,519
	雑収入	213,991
	教育活動収入計	6,004,768
科 目		金 額
教育活動支出の部	人件費	3,809,433
	教育研究経費	1,868,710
	管理経費	475,831
	徴収不能額等	20,768
	教育活動支出計	6,174,743
教育活動収支差額	△ 169,975	
教育活動外収入の部	教育活動外収入計	1,671
	教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額	1,671	
経常収支差額	△ 168,304	
特別収入	特別収入計	91,357
	特別支出計	122,062
特別収支差額	△ 30,705	
基本金組入前当年度収支差額	△ 199,009	
基本金組入額合計	△ 428,376	
当年度収支差額	△ 627,385	
前年度繰越収支差額	△ 10,539,142	
基本金取崩額	0	
翌年度繰越収支差額	△ 11,166,528	
(参考)		
事業活動収入計	6,097,796	
事業活動支出計	6,296,805	

貸借対照表

(平成28年3月31日) (単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	43,747,699
有形固定資産	41,079,823
特定資産	2,579,964
その他の固定資産	87,912
流動資産	4,819,013
資産の部合計	48,566,712
負債の部	
科 目	金 額
固定負債	3,086,799
流動負債	1,518,740
負債の部合計	4,605,539
純資産の部	
科 目	金 額
基本金	55,127,700
第1号基本金	54,374,700
第3号基本金	300,000
第4号基本金	453,000
繰越収支差額	△ 11,166,528
純資産の部合計	43,961,173
負債及び純資産の部合計	48,566,712

東京成徳ビジョン 100 への取り組み

昨年示された学園が目指す将来像「成徳」の精神をもつグローバル人材の育成」として3つの課題について重点目標が定められました。各校の取り組み、進捗状況について毎号ご紹介していきます。附属幼稚園では昨年度在園児の保護者が11カ国に及び、グローバル化対応プログラムとしてその保護者を講師に異文化に触れる活動を行いました。グローバル化は待ったなしで



中高一貫部における グローバルエデュケーション 〜 中学3年次3学期3カ月間、 全員でのニュージーランド学期 留学〜

学園の3代目理事長・校長 木内 四郎兵衛先生は1963年リオデジャネイロで開催された「世界教育者会議」に日本代表として出席されたのを嚆矢として世界各国の教育を視察され、1977年にはオーストラリア、ニュージーランドの教育を視察されました。1981年からはアメリカ西海岸サンディエゴ市で女子高校生のホームステイ制度を実施されています。このような伝統を引き継ぎ、本校の中3ニュージーランド(NZ)での学期留学は



全員参加の意義

これまでのノウハウを生かし、今年度の中学1年生(中高一貫部の20期生)より、全員参加の標準プログラムとなりました。新しい環境の中で生きていく力を身につけるためには、今までの自分の殻を破り積極的にコミュニケーションをとるという決断につながります。このプログラムの一番の良さは、生徒たちの心の成長です。帰国してからの自分の未来を真剣に考え、6カ年中高一貫の中間地点で、グローバルの時代に生きていく生徒たちの土台、出発点になることを期待しています。

2004年度よりスタートし、今年4月に帰国した現4年生で13回目となりました。深谷中学校の6名の生徒を加えると483名がこのプログラムを経験してきました。現在25校の学校と提携し、1つの学校には本校から3名以内というルールです。単なる語学研修とは違い、15歳で親元から離れ、外国での生活体験をさせる完全な留学プログラムとなります。今まで途中でリタイアした生徒は一人もいません。



学校教育現場における教育のICT化 ～ Information and Communication Technology ～

ICT化に向けた環境整備

平成13年、国家戦略として掲げられたICT戦略により、学校現場でもICT環境整備が徐々に進められてきました。平成27年度から、東京私学財団は私立学校ICT教育環境整備費助成事業として、タブレット端末の普及に対しても助成を開始しました。本校でも中高一貫



部・高等部ともにICT化の準備を進め、平成28年度より、校内無線LAN環境の増強あるいは構築、生徒用タブレット端末の試験的導入に加え、教室授業用プロジェクトの設置・充実ははじめたところ

です。教育現場におけるICT化は、まだ黎明期にあつて、機器メーカー、教育サービス業界、通信事業者、教科書などの出版業界などがそれぞれの立場からこの事業にアプローチをしております、実際に教育現場に於いて何が有効かが明瞭になっていないのが現状です。ICTの本来の特性として「遠隔地にある相手あるいは情報に対して、時間差なく即時に考えなどの伝達を双方向に可能にする」技術であると考え

ことができます。従って、教室内の授業として活用が期待される場面としては、Webを閲覧することなどによる単なる



検索や、静止画や動画・音声などを記録として残すといった使い方に終わらせるのではなく

●教室内の全生徒に授業資料として、紙媒体あるいは単なるビデオ視聴覚教材に留まらず、多様な情報を織り交ぜた教材を提供できる。

●一斉授業であるという形態を取りながらも、生徒に対し一対多ではなく、各々の生徒の考えに対して一対一の対応も可能にする。

●任意の生徒の考えや意見を取り上げ、教室内の生徒全体で共有できる。
●学校を離れた場面でも教育活動を展開できる。

などの利用を目指しています。

同時に教室内で様々な情報を共有するためにプロジェクトや電子黒板を有効に活用することによって、より教育効果の高い授業を目指しています。現在は、「まずは授業で使ってみる」あるいは「教材を作成するための研究をしてみる」という段階ですが、本来のICT利点を生かして、他国の高校と高校生同士の交流や、共通の課題への研究・発表の機会を設けるなどを目標に取り組んでいきたいと考えています。



i padの活用 中高一貫部

現在、学校所有の iPad (WiFiモデル) 42台を用いて、英語科・理科・最近では自分を深める学習で ICTを活用した学習に取り組んでいます。

英語科では、主に Keynote やロイノートというアプリを用いたプレゼンテーションを行っています。また、ロイノートでは双方向での情報共有が可能のため、生徒から教員へ送信された意見・解答をクイズ番組のようにプロジェクトや電子黒板で表示し、クラス全体でそれらを共有し、フィードバックをするという取り組みも行っています。更に録音機能もあるため、生徒そ



れぞれが音読練習後に録音し、提出させることで、音読テストのための授業時間を省き、他の内容や指導のために有効に時間を使えています。

通常の授業では自分の意見を発表することが苦手な生徒でも、iPadを用いることで自己表現するチャンスも増え、先生も生徒の理解度や意見を把握することができ、大きなメリットだと思われま。まだまだ本校での ICT 教育は始まったばかりで、WiFi環境をはじめ、問題は山積ですが、デジタルネイティブ世代には必須の ICT スキルを身に付けさせ、より有効な活用を目指しています。

ティム・クーニー先生の授業 説明と目標 高等部

Today's lesson was designed to help students talk about their favorite music. First we studied vocabulary in fun and interesting ways. In our classes we use the digital whiteboard to help communicate new ideas (like the meaning of difficult words). We also played games which challenge memory and pronunciation of tricky English words. Then we tried to use the vocabulary to describe songs. Lessons in the DDR are very active, so students have lots of opportunities to discuss various topics.



高等部では ICT に精通している Tim Cooney 先生が自ら教材を作成し、電子黒板を使用して生徒に「まず「英語に親しみをもたせ」るようさまざまな創意工夫がなされています。生徒たちが楽しそうに興味を持って授業に臨み、ゲーム感覚で語彙を増やし、正しい発音を体得しています。

高等部は昨年新設された DDR (Discovery Discussion Room) に外国人教員が在室し、生徒が気軽に相談できる雰囲気となっています。

ひと 『活躍する卒業生』

人文学部臨床心理学科

(現・応用心理学部臨床心理学科)

(平成21年3月卒業)

大学院心理学研究科

臨床心理学専攻

(平成23年3月修了)

臨床心理士 櫻井 由史さん

Q. 本学を志望された動機、在学中特に印象に残っていることは

私は静岡県立御殿場南高等学校の硬式テニス部引退と同時に、進学や将来の就職について考えるようになりました。将来の夢やはっきりした志望分野は決まっていなかったのですが、心理学を学ぶことで、どのような就職先であっても役立つのではと考えました。東京成徳大学には臨床心理学科があり、大学院進学も視野に入れることが出来ると考えました。



学部の時勝田台に下宿したのですが、硬式テニス部の活動やアルバイトにも恵まれ充実した生活をしていました。先輩の紹介で始め

たアルバイトは日曜日だけの勤務でしたので時間が有効に使えました。

もともと心理学に興味はあったのですが、専門書を読んでいたわけではなく、学部の授業で初めて「心理学」に触れることになりました。当初は「これは面白そうだな」と言う印象が強かったように思います。また、学年が上がるにつれ、より専門的内容を学べることが楽しみになりました。

1年生の時から八千代市役所の「おにいさん・おねえさん子ども電話相談」のボランティアをはじめ、そこでの経験によって2年生の頃から本格的に大学院進学を考えはじめようになりました。私はもともとスクールカウンセラー(S.C.)に興味があったので、学校心理学の飯田順子先生にご指導いただき中学生がS.C.を利用しやすくなるには、どうすればよいか、何がS.C.に求められているのか等を調査・研究しました。学部時代、特に印象に残っていることは、1年生の頃から出場していた硬式テニス部のリーグ戦です。4年生最後のリーグ戦では、シールド校を今一步の所まで追い詰めながらも敗れ、悔しい思いをしましたが、部員全員が力を尽くした、いい思い

出です。

大学院の修論は田村節子先生にご指導いただき、修論のテーマを深く掘り下げました。インタビューにより、S.C.に相談することへの不安を抱えた生徒さんの生の声を聞いたのも貴重な経験でした。

Q. 現在のお仕事は

公立の中学校が4校、高校は1校、東京都と埼玉県の学校に勤務しています。生徒との関わりは昼休みや放課後がメインになりますが、保護者からの相談も多く、午前中から「不登校」「発達障害(碍)」等、様々な相談を受けています。相談室登校の生徒さんとの関わりもあります。学校現場のS.C.に対する期待はとても大きいと感じます。先生から「生徒理解」や「生徒への関わり方」について相談を受けることも多いです。

もちろん、勤務する上では困難に直面したり、大変さもありますが、先生方とよい関係が築けていれば力を合わせ、臨床心理士の専門性を活かした活動ができます。日々忙しい先生の手の届かないところをそつとサポートしたり、専門的な視点からアドバイスを行い、先生方の視野が広がるような働きかけを行うことを心

掛けています。関わる方から感謝されたり、相談に来られた方の表情から良い変化を感じられた時、それやつてよかったと思える瞬間です。

私の仕事は主にS.C.としての学校勤務になりますが、心理オフィスでのカウンセリングや療育(発達につまづきがあるお子さんの小学校就学に向けての対策・支援)もしています。

S.C.は原則一年契約の非常勤職員ですので、毎年東京都と埼玉県の試験を受け、採用後に勤務先の学校が決まります。もちろん前年度と同様の学校の場合もあります。

私の場合、3年続けて同じ学校に勤務したこともあり、卒業するまでの3年間、関わりが続いたケースもありました。

Q. 心理学を志す後輩へのメッセージ

カウンセリングには自分の体験してきていることその全てが生かされていると感じています。

沢山のことに触れ、いろいろな体験をしてほしいです。

私が読んで非常に参考になったのは精神科医で医学博士の神田橋條治先生の著作です。非常に沢山の著書を上梓されていますが、どの本も面白いのでお勧めします。

進路 進学・就職

東京成徳大学高校

国公立大学 (準大学含む)	47 名
北海道大学 筑波大学 電気通信大学 千葉大学 横浜国立大学 埼玉大学 茨城大学 宇都宮大学 山形大学 福島大学 首都大学東京 静岡大学 東京医科歯科大学 防衛大学校 など	
難関私立大学	119 名
早稲田大学 慶応大学 上智大学 東京理科大学 明治大学 青山学院大学 法政大学 中央大学 立教大学 など	
その他私立大学	1,328 名
東京成徳大学	10 名
東京成徳短期大学	8 名
その他短期大学	23 名

(大学入試全般)

平成度 27 年度入試は、就職環境の好転による社会科学系の人気回復、また、理系・資格系人気の沈静化により、文高理低の傾向がみられた入試でした。センター試験の平均点は一部の科目を除き、全体的に落ち着いた結果となりました。数学と理科については、新指導要領導入に対応した科目に再編されたため、理科の負担感が影響し、現役の理系中心に「安全志向」が見られ、国公立への志願倍率は、わずかに減少しました。また、既卒生のセンター出願がやや減ったのも特徴です。

(国公立大学について)

センター試験の平均点は昨年並みでしたが、数ⅡBと新課程の化学(基礎の付していない科目)に関しては低得点が見られました。その結果、現役の理系には個別試験での高得点が求められる入試となりました。そのような中で、本校の生徒たちは北海道大学総合入試理系をはじめとして、筑波大学、電通大など、47人中27人が理系学部への合格を手に入れました。

(私立大学について)

就職状況の好転を反映し、人気復

活傾向の文系の中でも、法学系、経済・経営系、国際系、人文(英語)

系は人気があり、文系学部の志願者は全体的に堅調でした。一方、理系では歯学が大幅増、理工系も堅調でしたが、医・薬系など資格系の学部で減少傾向がありました。そのような中、本校の生徒は受験件数を増やし、健闘をしました。早慶上理は36名(前年の4名減)、GMARCHは165名、文系難関(成蹊・成城等)と理系難関(東京理科・北里・芝浦工業等)合計は146名、日東駒専の296名(前年の66名増)、大東亜帝国の211名(前年の32名増)、となりました。後に続く下級生には、活躍をした先輩たちを手本として、より高い目標を掲げて精一杯努力をして欲しいと思います。

東京成徳大学深谷高校

平成 27 年度の深谷校卒業生数 263 名の進路状況ですが、大学 148 名、短大 28 名、専門学校 67 名、就職 11 名、浪人その他は 9 名でほぼ昨年並みでした。

進学コースでは推薦入試や A O 入試を利用する生徒が多く、207 人中 99 人、約 48% の生徒が指定校・公募

推薦入試・A O 入試で大学へ進学しました。

特進・特進選抜コースでは在籍数が少ないわりに例年になく薬学系への人気が顕著にみられました。しかし、国公立大学には薬学部の設置大学が少なく難易度も高いため、最終的には私立大学への出願に留まったことが国公立大学減少のひとつの原因と考えられます。

また、安全志向もここ数年の中で最も強くみられました。そこで今年度は模試データなどを活用しながら広い視野でより高い目標を掲げられるように学年、進路指導部が協力して支援していきたいと思いま

平成 27 年度合格実績 (浪人含む)

国公立大学	2 名
群馬大学 北見工業大学	
私立大学	236 名
中央大学 青山学院大学 法政大学 芝浦工業大学 成城大学 武蔵大学 獨協大学 学習院女子大学 日本大学 東洋大学 駒澤大学 専修大学 など	
東京成徳大学	4 名
東京成徳短期大学	1 名

の中で千葉中小企業家同友会の合同説明会で立ち寄ったトラスでは社長自ら説明会でお話しをして下さり、今まで受けてきた会社にはない特別感と温かさを感じました。面接の前は予想質問を考えていましたが、実際は緊張して上手く喋ることができない場面が多かったので、用意した答えでなく、自分の会話をしようと思いがけました。面接は回数を重ねるとおちついて対応できるようになるので経験を積むことが必要と思います。

就職活動を振り返り、一番大事なことは「他人と比べない」ということだと感じます。周りの友人が自分より早く内定が出たとしても、焦ることはせず自分のペースで進めるべきです。もし焦ってしまった時はキャリア支援の先生に相談し、自分だけで不安を抱え込まないようにして下さい。不安や焦りは面接にも影響するので、明るく元気に過ごすことが内定への第一歩であると思います。

〔就職支援センター〕

決定率と主な就職先

学部	学科	就職決定率	主な就職先（過去3年）	
大学	子ども学部 子ども学科	99.1%	小学校、幼稚園、保育所、認定こども園、学童・児童館、施設等 【運輸】全日本空輸【金融】りそなグループ/朝日信用金庫 【旅行】H.I.S./JTB 首都圏【医療】日本赤十字社【小売】イトーヨーカ堂 【アパレル（子ども服 ほか）】ナルミヤ・インターナショナル/ユナイテッドアローズ 【公務】西東京市役所/茨城県坂東市役所【進学】上越教育大学大学院	
	経営学部 経営学科	95.0%	【百貨店・スーパー】三越伊勢丹/東武ストア/ヨークマート【保険】第一生命保険 【小売】コーセー化粧品販売/あさひ/コメリ【商社】エクセル/太三機工 【アパレル】クロスカンパニー（earth music&ecology ほか）/イング/京都市もの友禅 【アミューズメント】ナムコ/ゲオホールディングス【製造】三菱樹脂/YKK AP/東京鋳兼 【医療】亀田総合病院/羽生総合病院 【IT】日本総研情報サービス/コムシス情報システム【建設】日本住宅/大竹建窓 【出版】日刊工業新聞社【ホテル・ウエディング】目黒雅叙園【公務】葛飾区役所	
	人文学部	日本伝統文化学科	94.4%	【銀行】君津信用組合【着物・和装】西川/いつ和/コノエ/【寺社】萬徳院 【旅館】いなとり荘【地域活性】武蔵小山商店街振興組合【緑化事業】国土緑化 【情報通信】ソフエル/トラストシステム【小売】ヨークマート/メガネトップ【卸売】日通商事
		国際言語文化学科	92.0%	【空港】ANA エアポートサービス/中部国際空港旅客サービス【運輸】スカイマーク 【ホテル】アパホテル/大清水ホテルズ【旅行】クラブメッド 【美容】資生堂/ロクシタンジャポン/コーセー化粧品販売 【アパレル】ナルミヤ・インターナショナル【医療】亀田総合病院
		観光文化学科	66.7%	【卸売】大竹建窓/不二精工/橋本産業 【小売】東急ストア/ハードオフファミリー/ニチエイ・カーマックス 【建設】東光電気工事【サービス】三井不動産ホテルマネジメントパレスホテル/近畿日本 ツーリストホスピタリティオペレーションズ/国際自動車/シティパークアンドサービス 【出版】地域新聞社【学校】東京成徳学園
	応用心理学部	福祉心理学科	95.0%	【運輸】日本航空【病院】柏市立柏病院/（医）心和会 【児童支援】柏市児童相談所<公務>/（福）鳳雄会/（福）武蔵野会/児童デイサービスたからぼこ 【障がい者支援】千葉市手をつなぐ育成会 【高齢者支援】セントケア・ホールディング/ファーストステージグループ【進学】上越教育大学大学院
		臨床心理学科	92.3%	【金融】りそなグループ/JA かとり/山武郡市農業協同組合【保険】住友生命保険 【建設】東光電気工事【サービス】乗馬クラブクレイン/大江戸温泉物語 【医療】（医）龍岡会/（医）昌医会/サンリツタカサ/スギホールディングス 【福祉・生活支援】柏市児童相談所<公務>/ベアーズベネッセスタイルケア/（福）青葉会 【アパレル】ジャパン・イマジネーション（CECILMcBEE）/ギャップジャパン/ニューヨーカー 【公務・学校】江南市役所/千葉県警/宇都宮市立中学校/東京成徳学園
		健康・スポーツ心理学科	100.0%	【銀行】りそなグループ/東京東信用金庫 【スポーツ】セントラルスポーツ/イモト/（財）吉田記念テニス研修センター 【健康】板橋中央医科グループ/サンリツウエルシア薬局 【公務】千葉県警/陸上自衛隊【建設】積水ハウス/東光電気工事 【サービス・小売】イオンリテール/チヨダ/スタジオアリス
	短大	幼児教育科	100.0%	幼稚園、保育所、認定こども園、施設【公務他】警視庁、一般企業（積水ハウス）等 【進学】東京成徳大学子ども学部/東北福祉大学総合福祉学部

平成 28 年 5 月 1 日現在

就職決定率 = 就職決定者 ÷ 就職希望者

大学院

心理・教育相談センターが
東京キャンパス(十条)へ移転しました!

東京成徳大学大学院に併設されている心理・教育相談センターは、心理職の高度職業人を養成する教育施設であるとともに、地域の方々へ開かれた相談施設でもあります。2015年度は幼児から小・中・高・大学生、保護者、社会人と延べ56人にご利用いただきました。

相談内容も「家族(親子関係・夫婦関係)」「学校に行くことができない」「対人関係が苦手」「職場ストレス」「気分の落ち込みや不安」など多岐にわたっております。

これらの相談に対して、当セン



自由に自分の世界をつくる箱庭療法

ターではカウンセリング、遊戯療法、箱庭療法、心理検査、コンサルテーション(課題解決のための提案等)などを行っております。

主にカウンセリングでは悩みや葛藤の中にある来談者の言葉や心の声に耳を傾け自分らしく毎日を送れるよう助けします。言葉で内面を表現することが苦手な方や内面を見つめたい方には技法のひとつとして箱庭療法があります。

箱庭療法は、手触りのよい砂が敷き詰められた箱の中に人形やミニチュアを自由に配置して自分の世界を作る方法です。箱庭の中に自由に自分の世界を繰り返し表現することで心理療法としての効果を期待するものです。

当センターでは学園に通うお子様や保護者の皆様の相談はもちろんですが、他の学校へ通う兄弟姉妹や保護者ご自身が抱える悩みのご相談も承っております。

この4月に十条に移転してまいりましたので、身近な相談施設としてぜひお気軽にご利用ください。秘密は守られます。

*学園の皆様は相談料が半額(初回1,500円、継続1,000円)となっております。

大学 十条台キャンパス

経営学部
今年も期待できる懸賞論文



および「東京都北区 大転換構想」活性化のために何をなすべきか」の二つの論文が優秀賞に選ばれました。また、「旅行業界の現状と今後の課題 H.I.S.、JTB、一休の戦略」および「成徳改革紀」が佳作になりました。

受賞を逃したものを含め、なかなかトレンドで話題性のあるテーマの多かつたことが印象的でした。応募する論文の数も年々増加傾向を辿っています。

懸賞論文は学生が単独で作ることとあれば、ゼミの仲間との共同作業のこともあります。いざれにしても、テーマの選定、関連する文献の収集、データの分析、仮説の設定、結論に至る構成など、本格的な研究活動の一端を実体験できるわけです。

懸賞論文の作成を通じて、学生は興味のある業界についての知識を蓄えたり、様々な問題意識を深めたりしていきます。それらが、やがて就職活動におけるヒントや自信にも繋がります。動きの速い経済社会のなかで今年は学生がどのようなテーマに取り組むのか、今から楽しみなところですよ。

経営学部では、毎年、学生から懸賞論文を募集しています。社会に出れば、自分の考えをまとめ、プレゼンテーションする機会が多いわけですが、懸賞論文の作成は、そのための、ちょうどよい訓練の機会です。また、4年生のほとんどが卒業論文を書きますが、その準備運動にもなります。

第6回となる本年2月には、「少子高齢化時代における観光ビジネスへの提案―本当の贅沢を求めて―

子ども学部

子ども学とは（リレー掲載②）

子どもの表現を引き出す教師を目指して

助教 岡 千春



平成20年、中学校校体育においてダンスが男女必修となった。メディアでもダンスを目にする機会が多くなり、教育現場のみならずダンスへの注目は増している。それでもダンスは苦手だ、表現するのは嫌いだという学生は毎年一定数いるように感じており、子ども学部ではそうした苦手意識を改善できるような授業を目指している。

本来、ダンスや表現運動の学習のねらいは、心身を解放して全身を動かす、独自の表現を楽しむことができるようになることにある。子どもが心で思ったことを体で素直に表現できるようにするために、特に幼児期に

は全身で思い切り表現し、体でイメージを探求する体験が求められる。幼児教育の場で、子どもたちが身体の可能性を発見し、想像力・創造性を発揮できる活動が展開されることを期待したい。

子ども学部では、子どもの豊かな表現を引き出し、一人ひとりの表現を認めることのできる教育者の育成を目標とし、実技授業を重ねている。学生たちは、模擬授業や児童館における活動の中で、子どもの表現を引き出すコツ（表情、身振り、発話、リズム）を身に着けようと奮闘している。数回の実践を通して、少しずつ学生の表情や発話が豊かになつていき、子どもと共に表現を楽しむことのできる教育者へと成長



してくる可能性を感じている。活動をリードする教師自身の「表現する身体」が、子どもの自由で解放的な表現を何よりも引き出すことだろう。

短期大学

東京成徳短期大学ボランティア部

顧問 短大教授 福山 多江子

東京成徳短期大学ボランティア部では、年間を通じて地域の子どもたちや保育所・乳児院・幼稚園の子どものために活動をしています。

地域の連携の活動として北区の中央公園文化センターで年2回、子どもひろばという催しに参加し、手遊びや製作したパネルシアター（物語りや歌遊びなど）を演じるために出向き、子どもたちを楽しませています。又、オープンキャンパスの体験授業や短期大学フェアに参加し現役の学生の活動として高校生にそれらを紹介しています。12月には乳児院でのクリスマス会に参加し乳児のた



学生たちは学年の壁を越えて一致団結し、作品を製作したりその作品に応じた演じ方を話し合い、工夫しながら子どもたちのためにより良い作品

になるよう日々努力を重ねています。この努力により卒業する頃にはボランティア部の学生達全員が何らかの子どもに対する技術的なノウハウを身に着け、自信を持って保育に携わることができているようです。この良い伝統を壊さないためにも顧問として学生とともに日々努力を重ねていきたいと思っています。



大学 八千代キャンパス

卒業生の活躍をビジュアルで

最近、「京成電車で東京成徳のポスター見たよ」という声をあちこちでただけよになりました。昨年度も車内のドア上に年間を通して小さなシール広告をだしていましたが、今年は、ドア横のスペースにB3大のポスターをほぼ月替わりで掲出しています。

このポスターのコンセプトは、学生の生の声を大学のアピールに活



かすということ、「授業で感動したことがある」「学ぶことが楽しくなる」と言った、学生へのインタビューであがってきた東京成徳大学へのイメージをキャッチとして積極的に使い、卒業生の活躍ぶりをビジュアルとしてアピールする、という方式をとっています。

これまで東京成徳大学にあまり具体的なイメージを持っていなかった、京成沿線の高校生や保護者の方々に訴求する力は大きいと思います。またスマートフォン全盛時代に合わせて、ホームページのスマホ対応を進めているほか、東京成徳大学がウェブ上での検索上位になるようにするためのさまざまな工夫や、検索した人に引き続きアピールできる「リスティング広告」などの手法を用いて、「東京成徳」と言うブランドを、一人でも多くの方に浸透させるべく、入試・広報担当をあげて努力をしております。もちろん、アピールできる教育の成果や就職の実績など他部門とも連携しつつ、引き続き大学の質の向上を目指していきたくと考えております。

日本の歴史と文化を知るための5冊
—日本伝統文化学教科員からのおすすめ—

オリンピックの開催、観光インバウンドの増加、留学生の増員等々で、もつと日本を知りたいという機運が高まっているように思います。そこで、本学部の教員5名が日本を知るための一冊を紹介しました。歴史、文学、文化といろいろな切り口です。ぜひ興味を持った本を手にとってみてください。

○千年の昔から現代まで広く読み継がれ、各時代の文学に多くの影響を与え、今や世界各国でも翻訳されている、日本が誇れる文学作品、『源氏物語』、原文で読みたい方には現代語訳のついた角川文庫ソフィアを、とりあえず知りたいう向きには『まろ、ん？—大摺源氏物語—』（小泉吉宏著 幻冬舎刊）をおすすめします。（小林朋恵）

○時代は変わっても、ひとびとの「うた」に寄せる心は変わりがないようです。『梁塵秘抄』は、帝王位にありながら、流行歌謡「今様」の達人でもあった後白河院が編んだ歌詞集で、すこぶるつきに面白い！植木朝子著『梁塵秘抄』（ちくま学芸文庫の「編訳」、角川ソフィア「ビギナーズ・クラシック」）がおすすすめです。（青柳隆志）

○『ペリー日本遠征記図譜』（豆州下田郷土資料館編、京都書院、1998）は、1856年アメリカ合衆国海軍省から発行された『ペリー艦隊日本遠征記』から、琉球と日本に関する図版と図版に関連する本文を抜き出したものです。文庫本なので、当時の日本の社会風俗や文化を手軽に知ることができそうです。（山下琢巳）

○北原糸子著『関東大震災の社会史』（朝日新聞出版、2011年、本書は1923年の関東大震災の発生から、救済・救護の実態を描いたものです。日本は過去を遡ってみても地震の多い国で、近年では東日本大震災、熊本地震がありました。災害から復興を考える上で本書から沢山のことを学べます。（小蘭崇明）

○輪島裕介『創られた「日本の心」神話「演歌」をめぐる戦後大衆音楽史』（光文社新書、2010年）。昔からあったように思われていた「演歌」というジャンルは、実は戦後になって形づくられたものでした。その生成過程を、膨大な資料に基づいて明らかにするのがこの本です。戦後の文化や社会のありようを知るのに、とても役立ちます。（森下達）

中高一貫部

理科特別講義アラカルト



6月13日に中学3年生対象に、横浜国立大学の松本真哉先生による出張授業がクラス単位で実施されました。「エネルギーギー問題」

「プラスチックのリサイクル」といった視点から、生徒が考える授業が構成されていて、授業後にはプラスチックに対する意識が高まっています。放課後には、高校生の

希望者対象に対しても講座が設けられ、より活発なやり取りの中で、大変有意義な時間となったようです。

6月21日には、4年生全員を対象として、会津大学の寺園淳也先生による特別講演がありました。研究者として月探査計画「かぐや」立ち上げをされ、現在は情報工学、惑星科学等を専門とされています。今回は、研究者とはどのようなものか、研究者になるにはどのようなこと



が必要か等ご自分の経験を交えて話されました。今年としては自分の進路として理系・文系を決めなければいけない

4年生ですが、将来の目標として一つの生き方を紹介していただいた1時間40分でした。また、放課後には天文部の生徒20名に「かぐや」プロジェクトについて、熱の入ったお話をしてくださいましたが、初めは少し話し声もありましたが、次第に先生のお話の中に引き込まれ、最後は質問も出ていました。「科学する」ということに少し近づいたのでしょうか。



高等部

自分を深める学習
ミュージカルに学ぶ



6月7日 高等部第一体育館で音楽座ミュージカルの「シャボン玉とんだ、宇宙までとんだ」が上演されました。この劇団とのお付き合いは5年前に遡ります。

本校の「自分を深める学習」は「自分とは何か？なぜ学ぶのか？どう生きればよいか？」を考える授業ですが、この劇団も「どう生きるか？」をテーマに作品が構成されています。そのテーマ性に惹かれ、毎年公演を鑑賞しています。今回上演された「シャボン玉とんだ、宇宙までとんだ」は、人とのつながり、愛、宇宙や自然とのつながりを、嫌でも考えさせられるものでした。

自分の才能を信じ、夢をあきらめないで立ち向かう主人公、それを支える妻、巻き起こる幾多の障害…。それを乗り越えようとする二人の愛と、周りのつながり。そして最後は全宇宙とも無関係ではなく繋がっているという感性的実感。すべてが繋がってひとつであることを、歌と踊り、言葉によって表現され、私たちの心に響くものであったと思います。周りを取り囲むような座席配置は、いろんな角度から観ることができ、また舞台と座席の距離もとても近く、生徒たちは圧倒される思いで鑑賞することができました。

生徒の心の奥底にこの感動が残り続け、今後の人生の糧になることを願っています。



深谷中学校

宿泊農村生活体験



毎年2年生で実施している新潟県上越市・十日町市での宿泊農村生活体験は、今年で3年目。ホームステイでは偶然にも兄妹でお世話になるご家庭が現れました。今回は生徒の感想をお届けします。

「初日は、昼食を摂った後、ため池でカエルやオタマジャクシ、ヤゴなどの生き物を採取しました。採取した生き物は学芸員の小林さんが一つ一つ説明してくださいました。ブナ林の散策では、1年目のブナと樹齢200年のブナを対比して見ることができ、とても興味深かったです。ブナの植樹も良い体験となりました。2日目は、そば打ちと田植え

を体験しました。そば打ちは、少し失敗してしまいましたが、自分たちで作ったおそばはとてもおいしかったです。田植えは初めての経験でした。最初は素足で田んぼに入っただけで、気持ち悪かったですが、最後は楽しみながら苗を植えることができました。夕方からは、丸田さんのご家庭にお世話になりました。

ご夫妻はとても仲が良く、特にお父さんはユーモアたっぷりでもとても楽しかったです。また、一緒に作って食べたご飯はすごくすくすくおいしかったです。」

この3日間、自然体験・味覚体験・稲作体験・農村生活体験（ホームステイ）とはじめての体験の連続。なかでも味覚体験のそば打ちは苦労しただけにさぞおいしかったことと思われれます。



深谷高校

大学バス見学会

6月14日に1年生進学コース対象の大学バス見学会が行われました。今年度からは「まずは東京成徳大学・東京成徳短期大学を見る、そして知る」ことを第一に考えてバス見学会を企画しました。

当日は見学会に最適な涼しい曇り空に恵まれ、約200名の生徒が5台の大型バスに乗り込み、東京キャンパスに向かいました。

大学では「楷の木ホール」で日程の説明を受けた後、学生スタッフが生徒を10グループに分けてキャンパスツアーへ案内してくれました。



最初は緊張していた生徒たちですが、明るく親切な学生スタッフとすぐに仲良くなり、楽しそうに施設を見学している姿が見られました。ツアーが終了してもバスに乗り込む直前まで学生スタッフと多くの生徒たちが会話していたところを見ると、とても印象に残った見学会となったようです。

6月16日は2年生進学コースがクラスごとに5台のバスに分乗してそれぞれ2つの大学を見学しました。1年後に志望校を決めるため、みな真剣に各大学の説明を聞き、キャンパスを見学、学食を体験。成果も多くあったようです。



幼稚園

春の遠足 新宿御苑

(年長組・年中組縦割り保育)



こんなに沢山のバラをはじめて！

5月18日年長組・年中組合同で新宿御苑に遠足にいきました。前日の雨模様から、当日は、爽やかな早月晴れとなりました。朝からワクワクした気持ちでスクールバス3台、観光バス2台で出発。バスの中では歌を歌ったりクイズをしたり楽しく過ごし、あつという間に御苑に到着しました。バスから降りるとさっそく、「鳥の泣き声が聞こえるよ」「大きな木がいっぱいだね」と、子ども達は見上げるほどの高さの木々に、歓声をあげていました。また青空の下、元気に広い芝生の中を鬼ごっこをしたり、かけっこをしたり、思いきり走りまわりました。



外で食べるお弁当の味は格別！



みんなのタイミングを合わせるは大変でした



お父さんからのプレゼントの言葉素敵！

たくさん遊んだ後は、楽しみにしていたお弁当の時間です。日差しも強くなってきたので、涼しい木陰を探して、お兄さん・お姉さんといっしょにシートを敷き、「外で食べるお弁当は美味しいね」と笑顔一杯の子ども達でした。

今回は、年長組・年中組の縦割り保育で、食後には、年長さんは優しく小さい子の手を引き、年中さんは年長さんの優しさに触れ、手入れの行き届いた花壇に咲いている赤や黄色のバラを見て「きれいだね」と大喜び。大きな木のトンネルのような遊歩道を散歩しながら、初夏の自然を沢山体験した貴重な一日となりました。

第二幼稚園

バルーンを使って

直径8メートルのナイロン製のパラシュートクロスを使って、いろいろな形をつくりまわす。

バルーンの端をもって、一気にしゃがんで空気を閉じ込めると、大きなお山ができました。この状態から全員でそろって中心に向かっていくと、膨らんで気球のような形になります。大切なことは、みんな息を合わせてそろって行うことです。一人でもタイミングが合わなかったり、違う行動をしたりすると、きれいな形になりません。

「みんなの気持ちを一つにするときれいな形になるんだね。」

ふれあい参観

6月4日(土) 父親といっしょにおにぎりを作りました。鮭やたらこを中に入れて、ふりかけをかけたたり、海苔でまいたりしておいしそうにできました。またお泊り保育に向けてトマトを切って包丁の練習もしました。みんなでおいしくいただきました。その後、前からつくっておいたお父さんへのプレゼント「ありがとう」の言葉も添えて渡しました。最後に自分の子どもの好きなどころを発表していただきました。子ども達は、照れながらもとても嬉しそうでした。この感動的な思い出を宝物にしてほしいと思います。

クラブ活動 学園後援会総会

高等学校

女子バスケットボール部

関東大会(群馬) Aブロック 準優勝

総体 東京都予選で見事優勝!

2位の八雲学園、3位の明星学園

と共に8月1日より広島県で開催されるインターハイに出場予定。

大学

男子バスケットボール部

SEAHAWKS

連盟に新加入した時はなんと9部からのスタート。連戦連勝を重ね毎年入れ替え戦に勝利してきましたが流石に上位の壁は厚く現在は3部。51名の部員がA・Bの2チームに振り分けられ、現在千葉県前期男子リーグ戦で活躍中。秋のリーグ戦での飛躍が期待されます。

女子バスケットボール部

昨秋激戦の4部リーグを勝ち抜き、順位決定戦を制し、見事3・4部入れ替え戦に勝利し3部昇格を決めています。強豪揃いの3部でどこまで戦いぬけるか注目されています。

男子サッカー部

昨年7月ブルーの人工芝で彩られた本格的なサッカー場が八千代キャンパスに完成。千葉県大学サッカーリーグ2部(11校)に出場しています。

硬式野球部発足

硬式野球部は今春千葉県大学野球連盟の3部に加盟し、春季リーグに臨みました。3部は構成校が8校と多いため1戦固定方式で総当りです。部員は18名ですが、女子マネジャー5名が加わりサポートして7試合を戦いました。残念ながら3勝4敗と負け越しましたが、秋季リーグでの飛躍が期待されます。



平成28年度学園後援会開催

6月18日、中高一貫部において学園後援会の総会が開かれました。木内秀俊名誉会長・木内秀樹名誉副会長が揃って出席、会に先だち藪崎会長の発声で本年1月永眠された吉澤良彌副会長のご冥福を祈って全員で黙祷を捧げました。



木内学園長、木内理事長が近況報告をされ、後援会の皆様の活動・ご支援に対し感謝を述べられ学園創立100周年を目指して「オール成徳」で臨む決意と一層のご支援を願われました。

議事が審議され順調に終了し、乾杯に入る時、佐々木顧問より長年東京成徳のために尽力いただいた元文京区議会議長齋田宗一氏の訃報が伝えられ全員で献杯を行いました。引き続き子ども学部永井学部長より「育児の日米比較・その後」と題し講演が行われました。

質の高い幼児教育・人間科学の難しさ、日米の母親の親子関係・人間関係の特徴など多くの育児書の分析を紹介されました。日本の母親は「説得・暗示」が多いが、アメリカの母親は「直接的・明示的」と対照的なようです。

昼食後は皆さまが近況を述べられ来年の再会を楽しみに散会いたしました。



日米の母親の子どもの躰は



ようこそ！
東京成徳へ

**OPEN CAMPUS
2016**

(予約不要)

東京キャンパス (北区十条)

大学院心理学研究科
応用心理学部 臨床心理学科
子ども学部 子ども学科
経営学部 経営学科
東京成徳短期大学 幼児教育科

7月24日(日) 8月6日(土)
8月27日(土) 11月20日(日)
12月17日(土) (大学院のみ)

桐友祭

10月15日(土)

10月16日(日) 学園祭入試イベント・入試対策講座を実施予定

千葉キャンパス (八千代市)

応用心理学部 福祉心理学科
応用心理学部 健康スポーツ心理学科
人文学部 日本伝統文化学科
人文学部 国際言語文化学科

7月24日(日) 8月6日(土)
8月20日(土) 9月4日(日)
10月2日(日)

翠樟祭

10月29日(土)

10月30日(日)

検索

東京成徳

東京成徳大学・東京成徳短期大学 URL <http://www.tsu.ac.jp>

入試説明会のご案内

東京成徳大学高等学校

学校説明会(受験生・保護者) 説明会終了後個別相談があります

8月27日(土) (特待制度説明会) 9月22日(祝木) 10月15日(土)
11月3日(祝木) 11月19日(土) 12月3日(土)

イブニング説明会 (保護者)

10月7日(金) 10月14日(金) 10月21日(金) 10月28日(金)
(特進コース・Sクラスの説明)

授業公開日 (受験生・保護者)

11月12日(土) ◎詳細につきましては電話 03 - 3911 - 5196 へ

東京成徳大学深谷高等学校

オープンスクール 7月24日(日) 7月31日(日)
学校説明会(要予約) 10月9日(日) 10月23日(日) 11月20日(日)
桐蔭祭 9月10日(土) 9月11日(日)

東京成徳大学中学校 (完全中高一貫制)

学校説明会&体験プログラム

9月10日(土) 10月16日(日) 11月9日(水) 11月19日(土)
12月18日(日) 1月7日(土) 1月14日(土)

文化祭 9月24日(土)~25日(日) 学校見学・個別相談・随時実施 要予約 (お電話にてお申込みを)

東京成徳大学深谷中学校

学校説明会 9月25日(日) 10月5日(水) 10月23日(日) 11月20日(日)
入試相談会 12月3日(土) 12月17日(土)

東京成徳短期大学附属幼稚園

幼稚園説明会 8月27日(土) 9月3日(土)

申し込みは8月22日(月)よりお受けします。 E-mail : yochien@tki.tokyoseitoku.ac.jp



学部と共に移転した大学院

学校法人 東京成徳学園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp	
東京成徳大学大学院	http://www.tsu.ac.jp/gra	電話 03-5948-5161
心理・教育相談センター	http://www.tsu.ac.jp/center/tabid/210/Default.aspx	電話 03-5948-5162
東京成徳大学	http://www.tsu.ac.jp	
十条台キャンパス		電話 03-3908-4530
八千代キャンパス		電話 047-488-7111
東京成徳短期大学	http://www.tsu.ac.jp	電話 03-3908-4530
東京成徳大学中学校・高等学校		
中高一貫部	http://www.tokyoseitoku.jp/js	電話 03-3911-2786
高等部	http://www.tokyoseitoku.jp/hs	電話 03-3911-5196
東京成徳大学深谷中学・高等学校		
中学校	http://www.tsfj.jp	電話 048-573-1784
高等学校	http://www.tsfh.jp	電話 048-571-1303
東京成徳短期大学附属幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind	電話 03-3911-6337
東京成徳短期大学附属第二幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind	電話 048-854-2151
東京成徳スイミングスクール		電話 03-3914-2383

学校法人 東京成徳学園 〒114 - 8526 東京都北区豊島 8 - 26 - 9 TEL 03 - 3911 - 2411 FAX 03 - 3911 - 6500
 法人本部企画調査室 東京成徳広報 第40号 平成28年7月発行